

# 埼玉県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム 第1回意見交換会

日時 令和5年7月20日（木） 09:30～12:00

## 本日の意見交換会のテーマ

「若者のつながり・居場所づくり」について

## 事務局からの説明事項

1. 埼玉県孤独・孤立対策官民連携プラットフォームについて
2. 埼玉県人々のつながりに関する基礎調査結果について
3. 埼玉県の令和5年度施策（案）について
4. 埼玉県の令和6年度施策（案）について

# 1 埼玉県孤独・孤立対策官民連携プラットフォームについて

➤ 令和5年2月9日（木）設置

## プラットフォームの構成

### 【会員】行政機関

構成 ■ 県、県内63市町村。  
→孤独・孤立対策と予防に向け、包括的に取り組む。

### 【会員】NPO等、社協

構成 ■ NPO等、県社協、市町村社協。  
→団体同士がつながり、活動を広げるきっかけに。

埼玉県  
孤独・孤立対策  
官民連携  
プラットフォーム

### 【会員】業界団体、民間企業等

構成 ■ 経済団体、民間企業等。  
→事業を通じ、資金や活動場所、就労への協力等を行う。

### 運営協議会

構成 ■ 学識経験者、地域活動実践者等、多分野で構成。→県PFの取組の検証を行う。

## プラットフォームの目的

### ■連携の基盤

- ・分野、種別、地域などを超え、団体が広くつながる
- ・既存の活動や事業に「孤独・孤立」の横串を通し、取組みの裾野を拡大
- ・対等な立場でフラットに連携

など

### ■情報の発信

- ・「困ったときに支援を求めるのは良いこと」を社会に発信し、声を上げやすい社会づくりを目指す（ステイグマの解消）
- ・会員の活動や居場所などの情報を発信し、当事者の支援につなげる など

### ■会員の活動を支援

- ・研修や地域別ワークショップの開催
- ・先進的取組、好事例の共有
- ・各種支援、助成等の情報提供

など

## 2 埼玉県人々のつながりに関する基礎調査結果について

### 調査の対象、方法

無作為抽出で満16歳以上の1,500人の県民（2023年1月1日現在）。国（内閣官房）の事業として実施。

### 調査の時期

調査期間：令和5年1月17日～2月10日 調査結果公表予定：令和5年4月

### 調査結果

回答数 797件（回答率:53.1%）

#### ➤ 孤独に関する事項

孤独感（UCLA尺度・直接質問）、継続期間、これまでに経験したライフイベント（家族との離別・死別、人間関係の重大なトラブル等）、社会や他人とのかかわり方の満足度

#### ➤ 孤立に関する事項

外出頻度、外出目的、行動範囲、社会的交流（家族・友人とのコミュニケーション手段や頻度）、社会参加（活動への参加状況）、各種支援の状況、他者への手助けの状況

#### ➤ その他関連事項

コミュニケーションツールの利用状況、不安や悩みの相談相手の有無、不安や悩みを相談する際の感情、心身の健康状態、コロナ禍におけるコミュニケーションの変化・生活の変化

#### ➤ 属性事項

年齢、性別、配偶者の有無、同居人の有無・数、収入を得ている同居人の数、教育・就業状態、居住形態（住宅の種類、持ち家か否か）、世帯の年間収入

# 埼玉県人々のつながりに関する基礎調査

## 調査結果報告書（概要版）

令和5年3月

埼玉県

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

埼玉県における孤独・孤立の実態を把握し、関連行政諸施策の基礎資料を得ることを目的として実施。

## 2 調査の実施概要

### (1)調査の名称

埼玉県人々のつながりに関する基礎調査

### (2)調査の対象

埼玉県に居住する16歳以上の個人 1,500人（無作為抽出による）

### (3)調査の方法

オンライン又は郵送により回答

### (4)調査期間

令和5年1月17日（火）～令和5年2月10日（金）

## 3 調査事項

### (1) 孤独に関する事項

孤独感（UCLA孤独感尺度・直接質問）、継続期間、これまでに経験したライフイベント（家族との離別・死別、人間関係の重大なトラブル等）、社会や他人とのかわり方の満足度

### (2) 孤立に関する事項

外出頻度、外出目的、行動範囲、社会的交流（家族・友人とのコミュニケーション手段や頻度）、社会参加（活動への参加状況）、各種支援の状況、他者への手助けの状況

### (3) その他関連事項

コミュニケーションツールの利用状況、不安や悩みの相談相手の有無、不安や悩みを相談する際の感情、心身の健康状態、コロナ禍におけるコミュニケーションの変化・生活の変化

### (4) 属性事項

年齢、性別、居住地域、配偶者の有無、同居人の有無・数、収入を得ている同居人の数、教育・就業状態、居住形態（住宅の種類、持ち家か否か）、世帯の年間収入

## II 結果の概要

### ■ 孤独の把握方法・状況

孤独という主観的な感情をよりの確に把握するため、この調査では2種類の設問を採用。

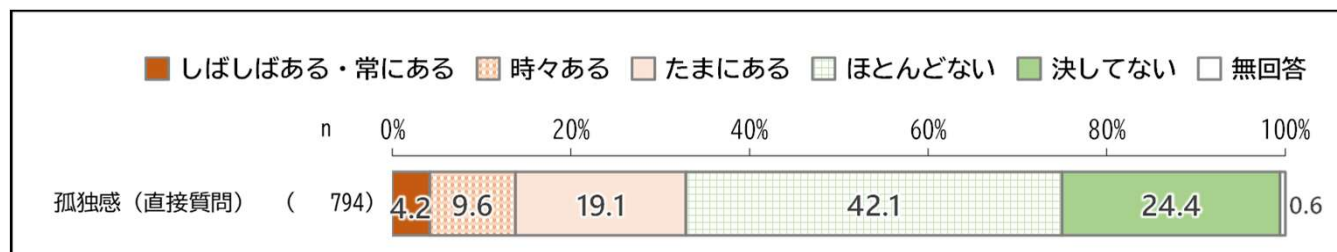
#### ①直接質問

- 直接的に孤独感を質問。直接質問の結果、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は4.2%、「時々ある」が9.6%、「たまにある」が19.1%であった。一方で孤独感が「ほとんどない」と回答した人は42.1%、「決してない」が24.4%であった。

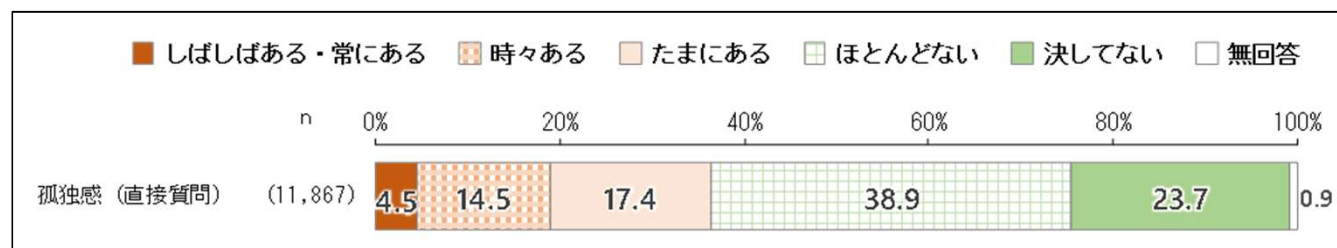
あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。

1 決してない	4 時々ある
2 ほとんどない	5 しばしばある・常にある
3 たまにある	

埼玉県



国※  
(令和3年調査)



※以後、国の図表は、「人々のつながりに関する基礎調査（令和3年）内閣官房孤独・孤立対策担当室」の結果であることを表す。

## II 結果の概要

### ■ 孤独の把握方法・状況

#### ②間接質問

- 孤独という主観的な感情を間接的な質問により数値的に測定する「UCLA孤独感尺度」に基づく質問。3つの設問への回答を点数化し、その合計スコア(本調査では最低点3点～最高点12点)が高いほど孤独感が高いと評価。間接質問の結果、**合計スコアが「10～12点」の人が6.0%、「7～9点」の人が36.6%**であった。一方で「4～6点」の人が37.5%、「3点」の人が19.3%であった。

①あなたは、自分には人とのつきあいがないと感じることはありませんか。

1 決してない	3 時々ある
2 ほとんどない	4 常にある

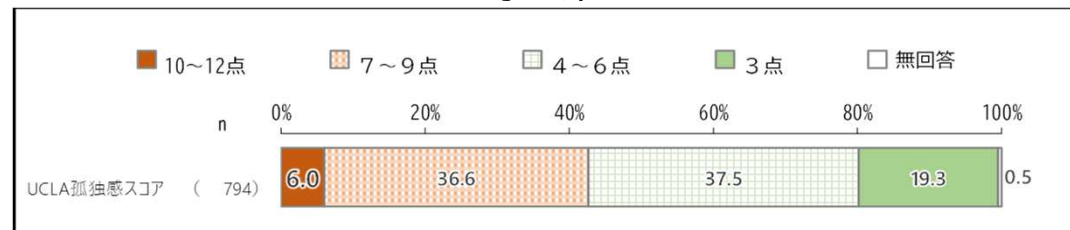
②あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか。

1 決してない	3 時々ある
2 ほとんどない	4 常にある

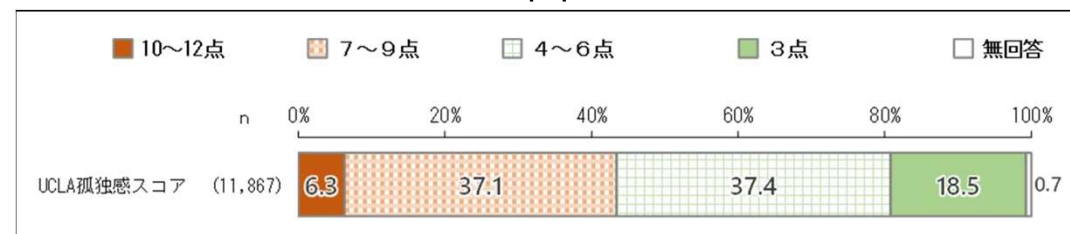
③あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。

1 決してない	3 時々ある
2 ほとんどない	4 常にある

### 埼玉県



### 国



(参考)UCLA孤独感尺度

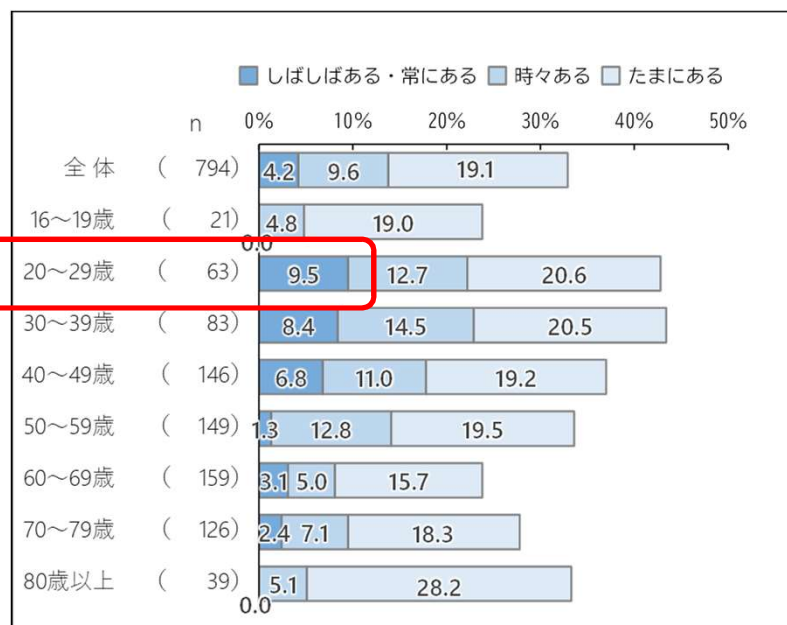
カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)の研究者が孤独という主観的な感情を間接的な質問により数値的に測定しようと考案したもの。本調査では上記の3項目の設問について、それぞれ4つの回答選択肢(4件法)を設定。「決してない」を1点、「ほとんどない」を2点、「時々ある」を3点、「常にある」を4点とし、その合計スコアにより孤独感の高さを測定。なお、調査によって尺度がアレンジされることがあり、英国では「しばしばある」(3点)、「時々ある」(2点)、「ほとんど・決してない」(1点)の3つの回答選択肢(3件法)を設定。

## II 結果の概要

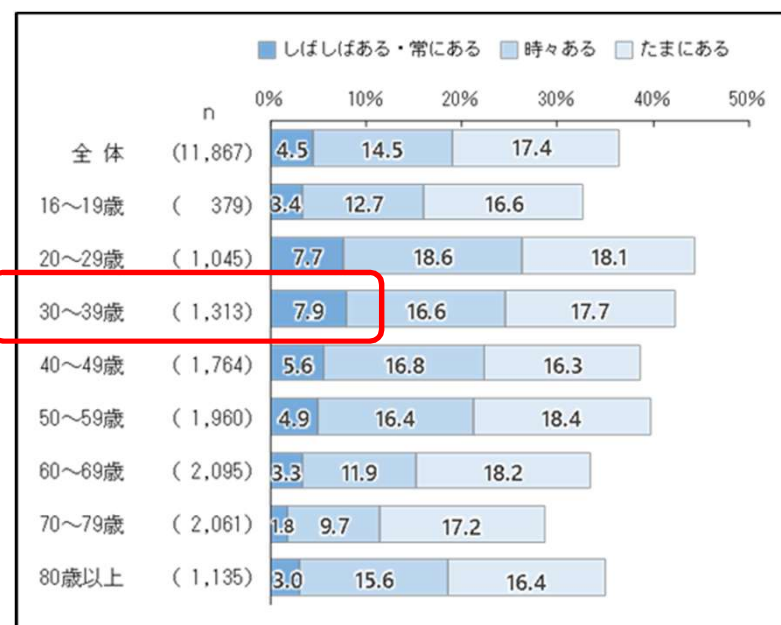
### ■ 年齢階級別孤独感

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人について年齢階級別の割合は「20歳代」が最も高く9.5%であった。一方、最も低いのは「10歳代」、「80歳以上」で0.0%であった。

埼玉県



国





## II 結果の概要

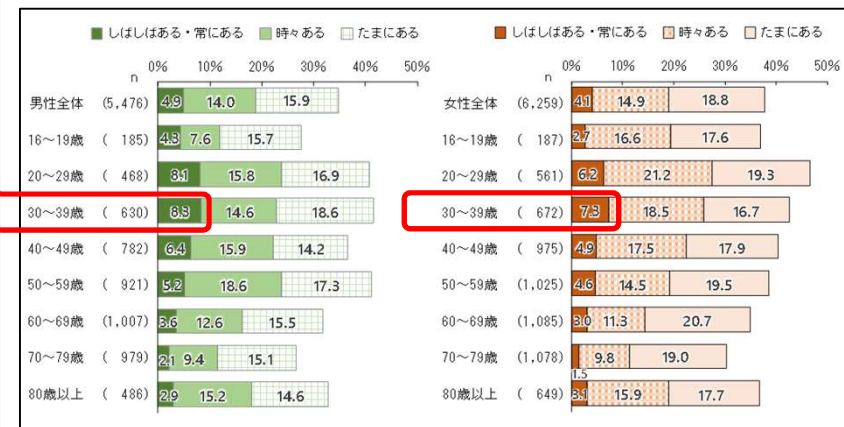
### ■ 男女、年齢階級別孤独感

- 男女別にみても、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は男性は「20歳代」が最も高く11.1%、女性は「30歳代」が最も高く12.8%であった。
- その割合が最も低いのは男女ともに「10歳代」、「80歳代」で、ともに0.0%であった。

#### 埼玉県



#### 国

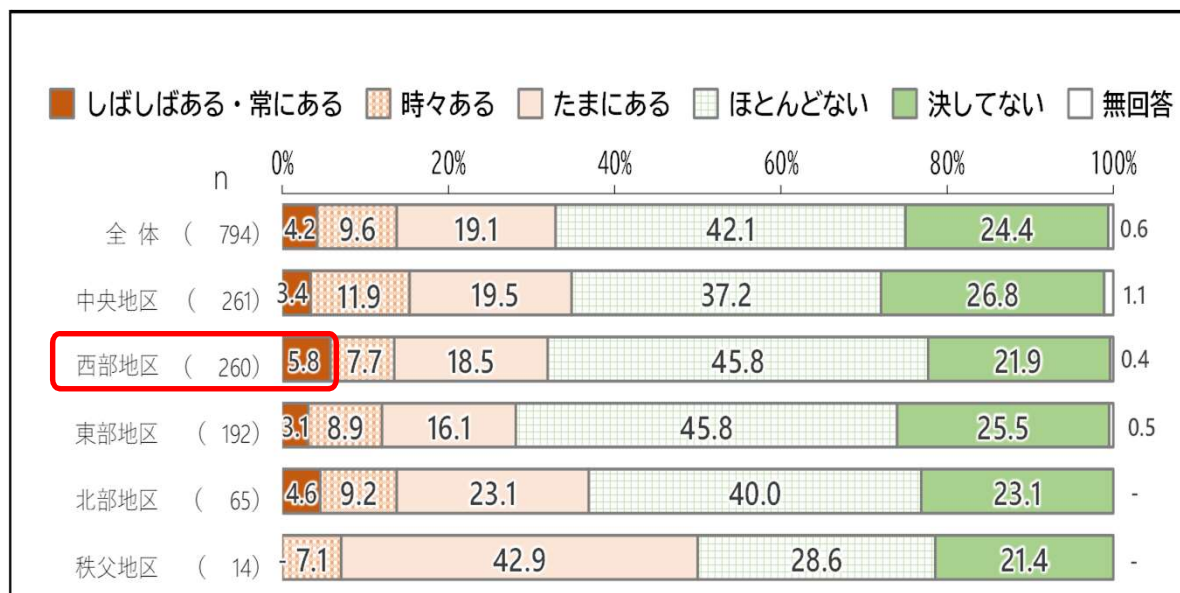


## II 結果の概要

### ■ 居住地域別孤独感

- 居住地区別にみると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は「西部地区」が最も高く5.8%であった。
- その割合が最も低いのは男女ともに「秩父地区」で0.0%であった。

### 埼玉県

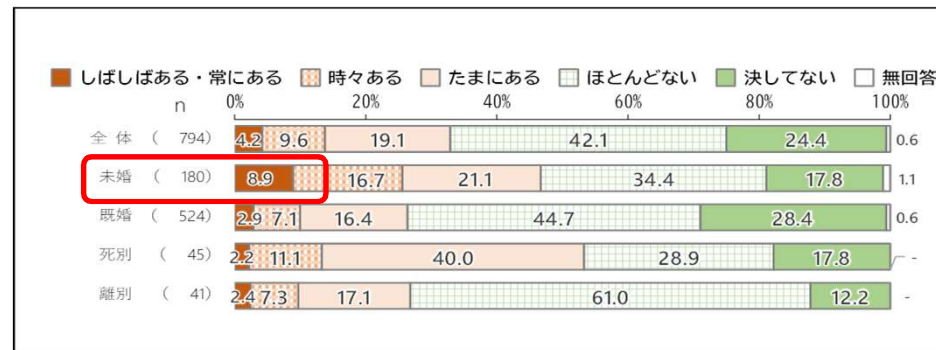


## II 結果の概要

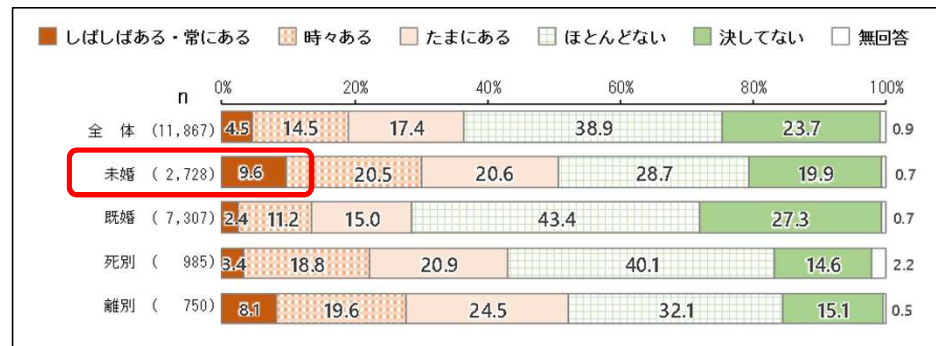
### ■ 配偶者の有無別孤独感

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、未婚者が8.9%、既婚者が2.9%であった

埼玉県



国



## II 結果の概要

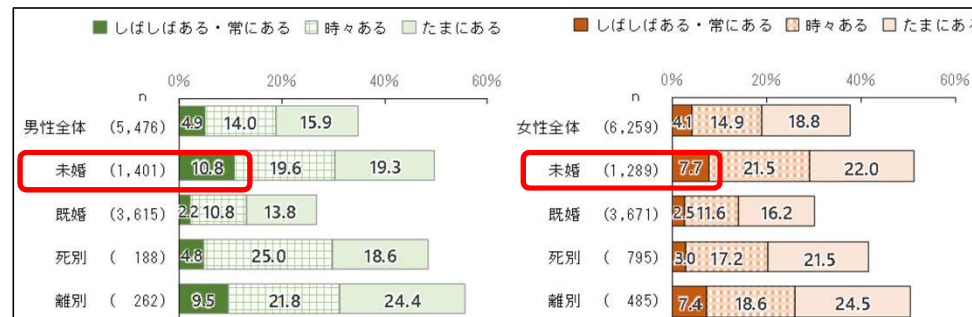
### ■ 男女・配偶者の有無別孤独感

- 男女別にみても、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、男女ともに未婚者が最も高い(男性8.4%、女性9.9%)。

埼玉県



国

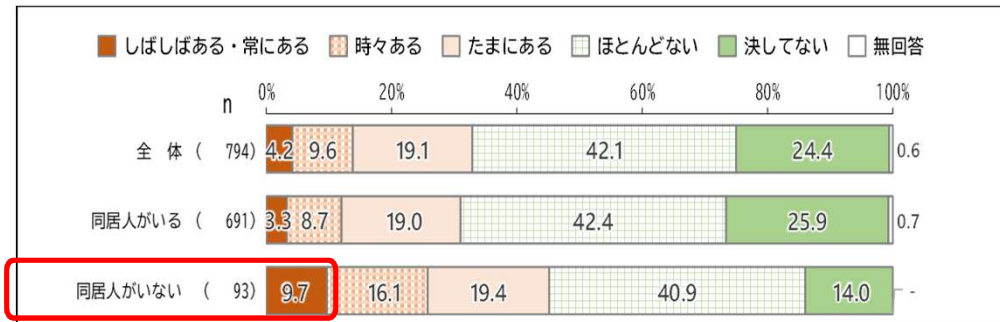


## II 結果の概要

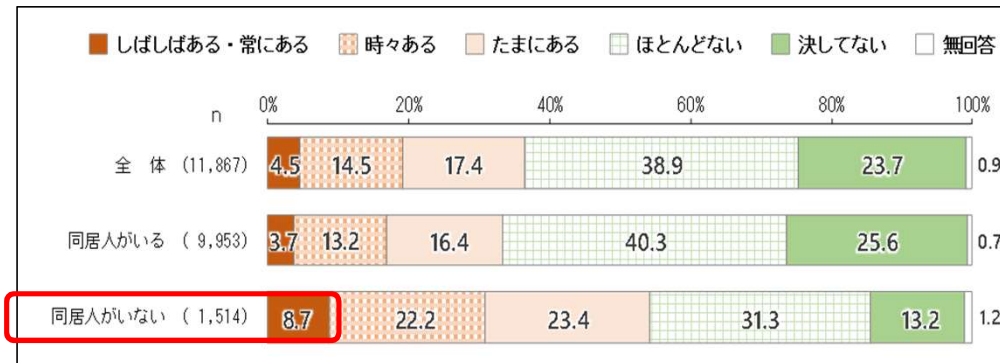
### ■ 同居人の有無別孤独感

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、同居人がいる人が3.3%、同居人がいない人が9.7%であった。

埼玉県



国

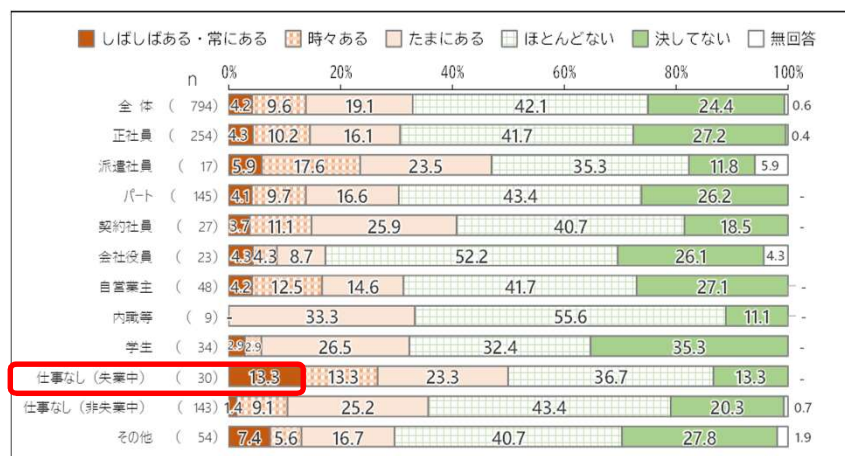


## II 結果の概要

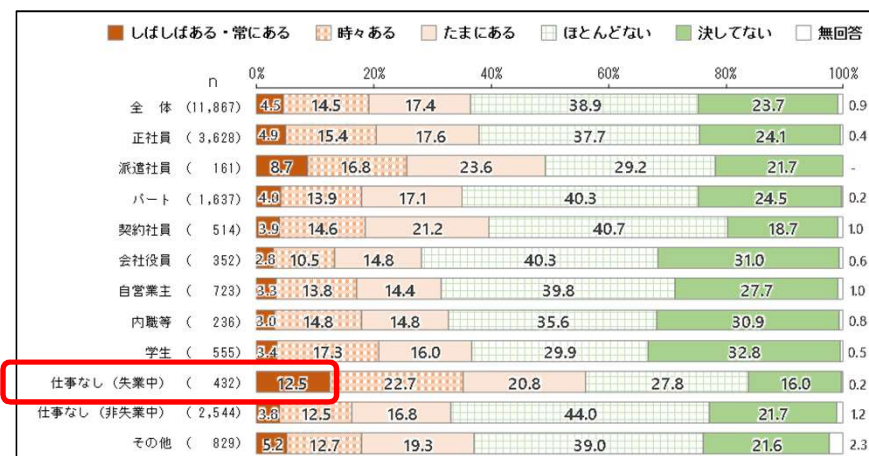
### ■ 現在の仕事の有無別孤独感

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、**仕事なし(失業中)の人が13.3%で最も高い**。一方、その割合が最も低いのは、内職等で0.0%であった。

#### 埼玉県



#### 国

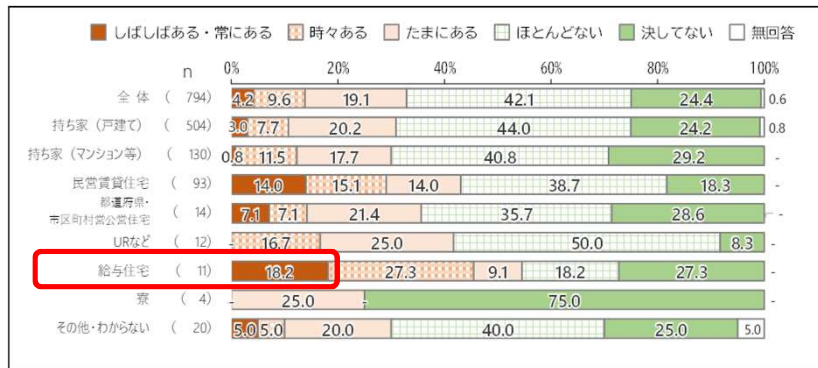


## II 結果の概要

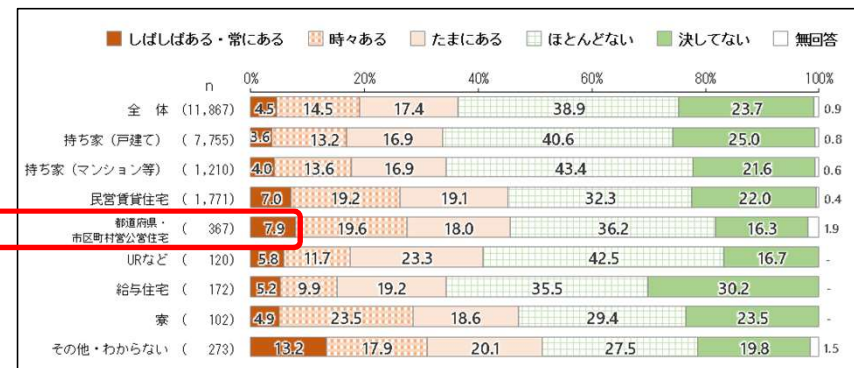
### ■ 現在の住まいの状況別孤独感

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、給与住宅に住んでいる人が18.2%で最も高い（「その他・わからない」を除く）。一方、その割合が最も低いのは、「URなど」、「寮」に住んでいる人で0.0%であった。

#### 埼玉県



#### 国



## II 結果の概要

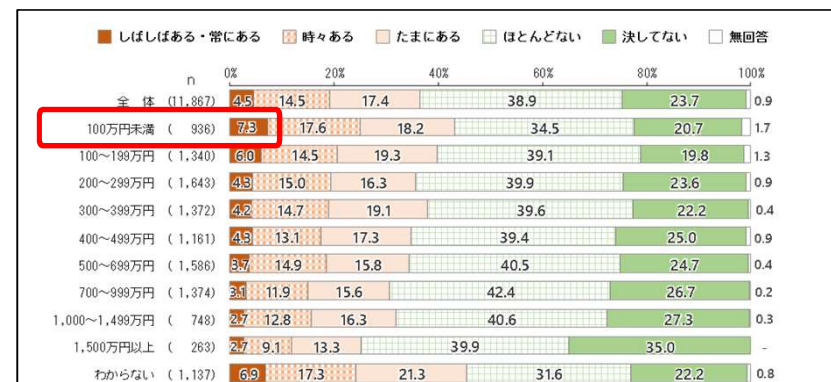
### ■ 世帯年収別孤独感

- 2022年の世帯年収(税・社会保険料込み)別に見ると、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、**年収100万円未満の人が8.3%で最も高い**。一方、その割合が最も低いのは、年収1500万円以上の人で0.0%であった。

#### 埼玉県



#### 国



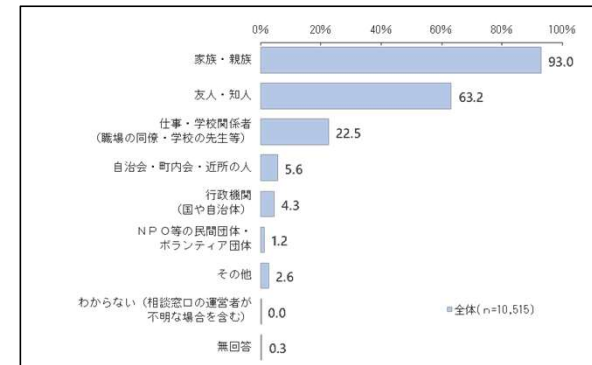
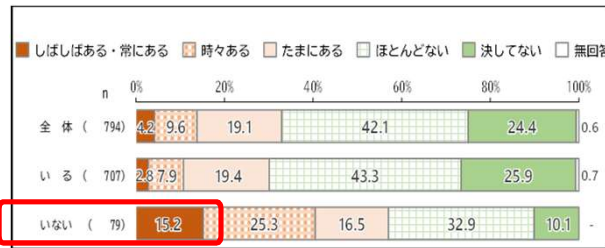


## II 結果の概要

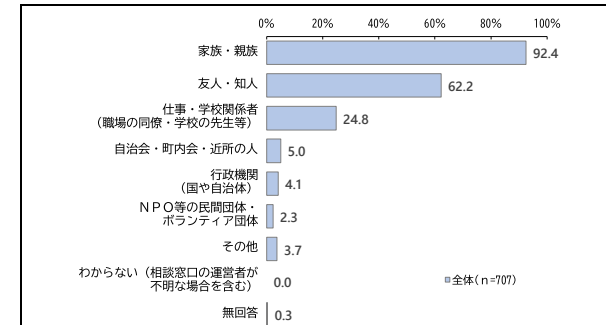
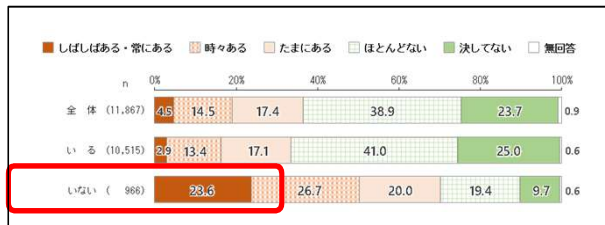
### ■ 不安や悩みの相談相手の有無別孤独感

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、相談相手がいる人が2.8%、相談相手がない人が15.2%であった。

埼玉県



国

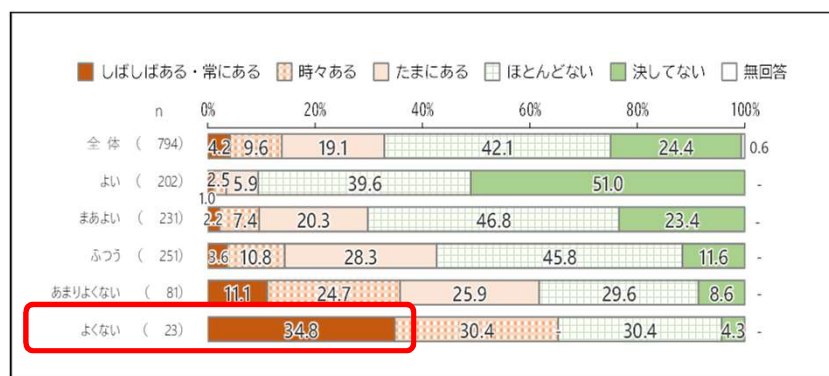


## II 結果の概要

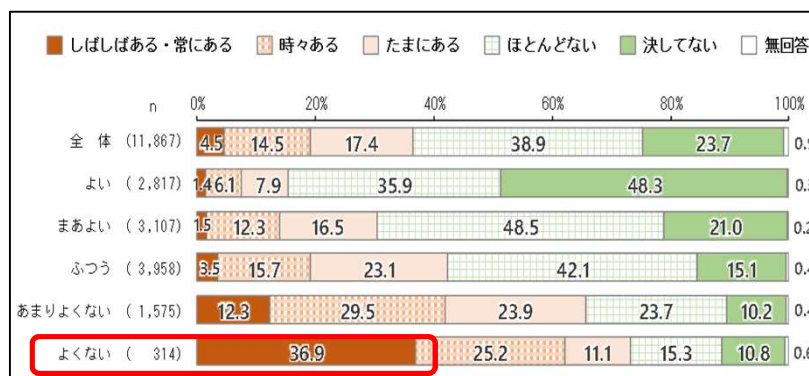
### ■ 心身の健康状態別孤独感

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、**心身の健康状態が「よくない」という人が34.8%で最も高い**。一方、その割合が最も低いのは、「よい」という人で1.0%であった。

#### 埼玉県



#### 国

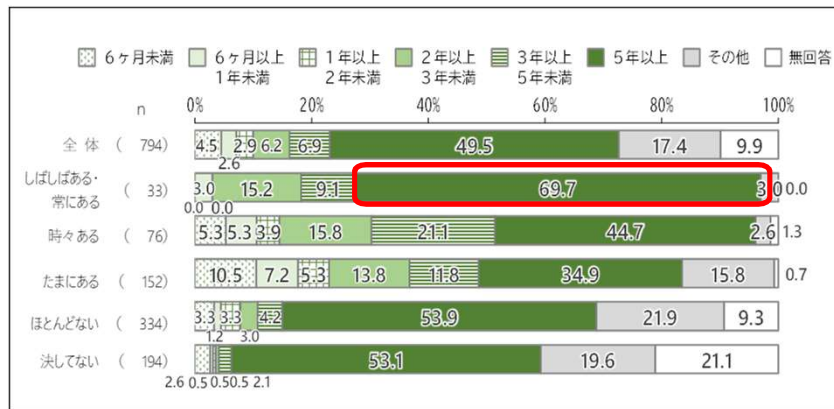


## II 結果の概要

### ■ 現在の孤独感の継続期間

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の69.7%が、5年以上その期間が継続していると回答している。

埼玉県



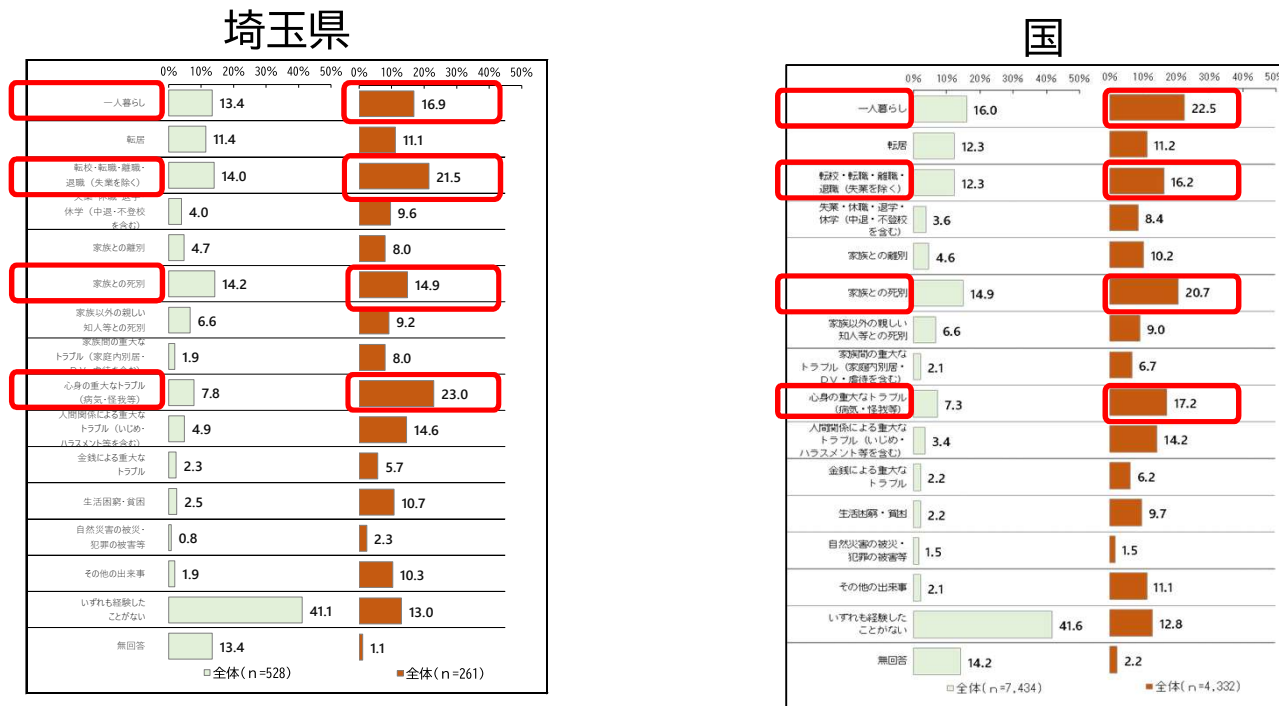
国



## II 結果の概要

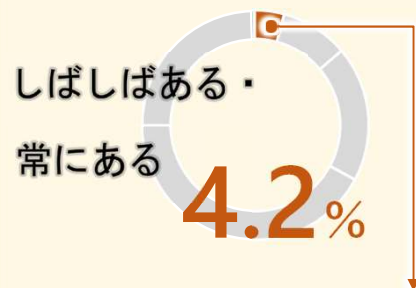
### ■ 現在の孤独感に至る前に経験した出来事

- 孤独感が「しばしばある・常にある」、「時々ある」、「たまにある」と回答した人がその状況に至る前に経験した出来事としては、「一人暮らし」、「転校・転職・離職・退職(失業を除く)」、「家族との死別」、「心身の重大なトラブル(病気・怪我等)」を選択した人の割合が高かった。



- 右側のグラフは孤独感が「しばしばある・常にある」、「時々ある」、「たまにある」と回答した人がその状況に至る前に経験した出来事を集計したものの。
- 左側のグラフは孤独感が「ほとんどない」、「決してない」と回答した人がその状況に至る前に経験した出来事を集計したものの。

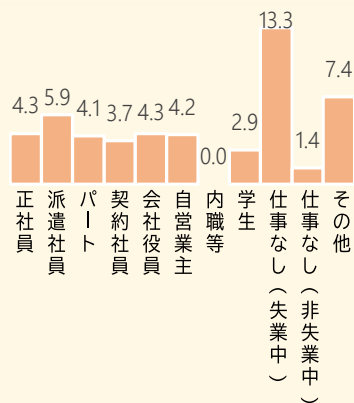
あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。



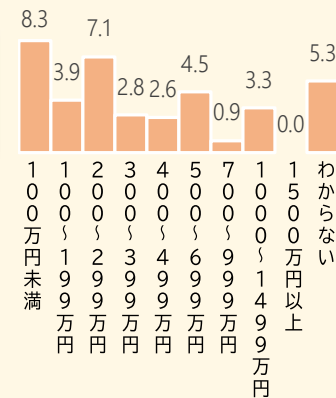
しばしばある・常にある	4.2%
時々ある	9.6%
たまにある	19.1%
ほとんどない	42.1%
決してない	24.4%
無回答	0.6%

※各グラフの単位は「%」

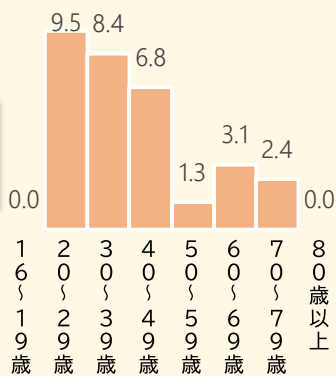
仕事



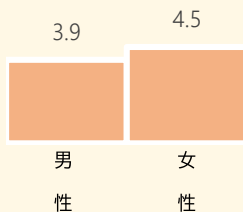
世帯年収



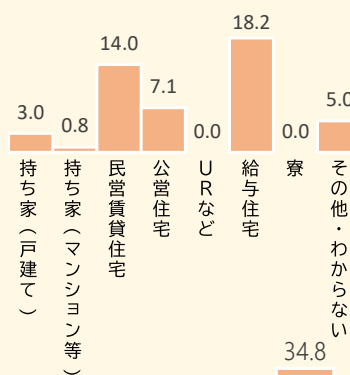
年齢



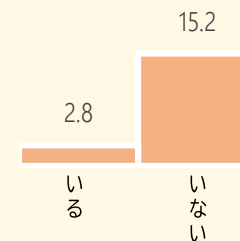
性別



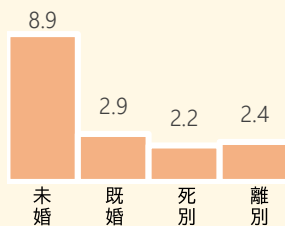
住居



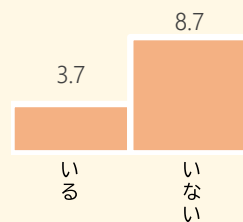
相談相手の有無



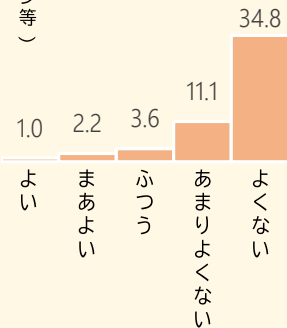
婚姻状況



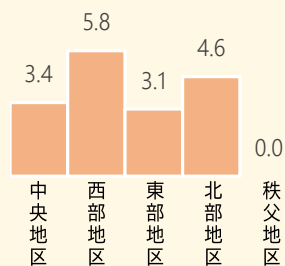
同居人



健康状態の心身の



居住地区



## II 結果の概要

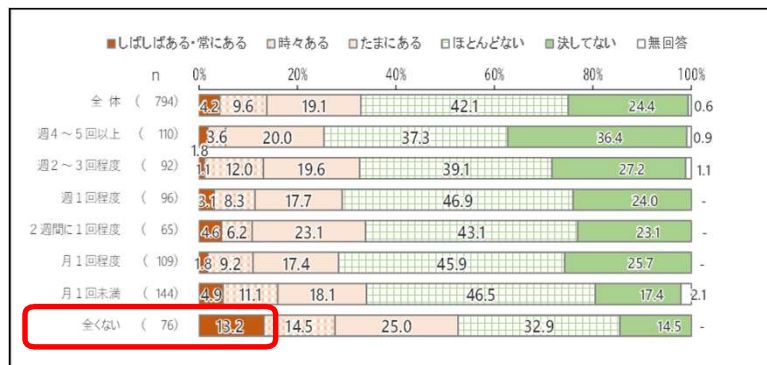
### ■ 孤立の把握方法・状況

- 孤立については、国内の先行研究などを参考に①社会的交流(家族・友人等との交流)、②社会参加(PTA活動、ボランティア活動、スポーツ・趣味等の人と交流する活動への参加)、③社会的サポート(行政機関やNPO等からの支援)、④社会的サポート(他者からの支援)の状況から社会的孤立の状態を把握。

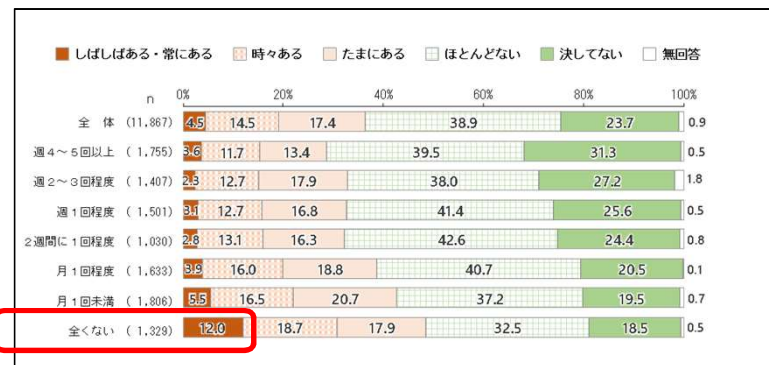
#### ①社会的交流の状況

- 同居していない家族や友人たちと直接会って話すことが全くない人の割合が9.6%、月1回未満の人の割合が18.1%。
- これらの人については、孤独感が「しばしばある・常にある」という割合が高い。

#### 埼玉県



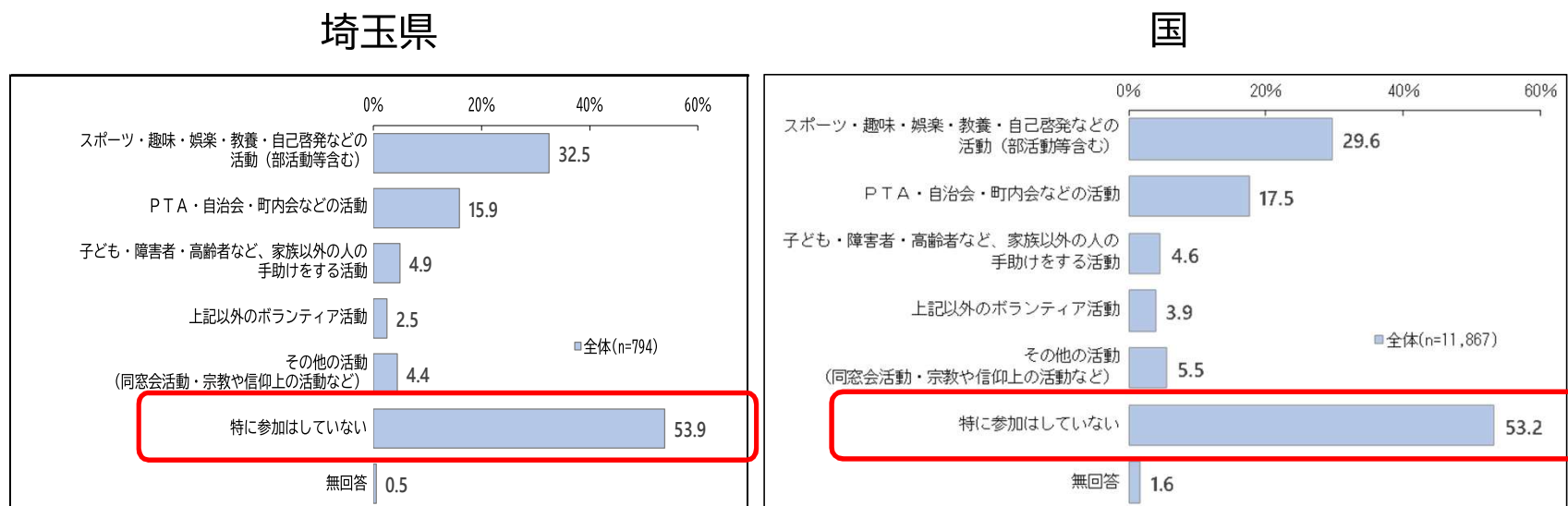
#### 国



## II 結果の概要

### ②社会参加の状況

- 現在の社会活動(人と交流する活動のみ)への参加状況では、特に参加はしていない人の割合が53.9%で最も高い。
- 参加している人については「スポーツ・趣味・娯楽・教養・自己啓発などの活動(部活動等含む)」への参加を選択する割合が最も高く、32.5%であった。

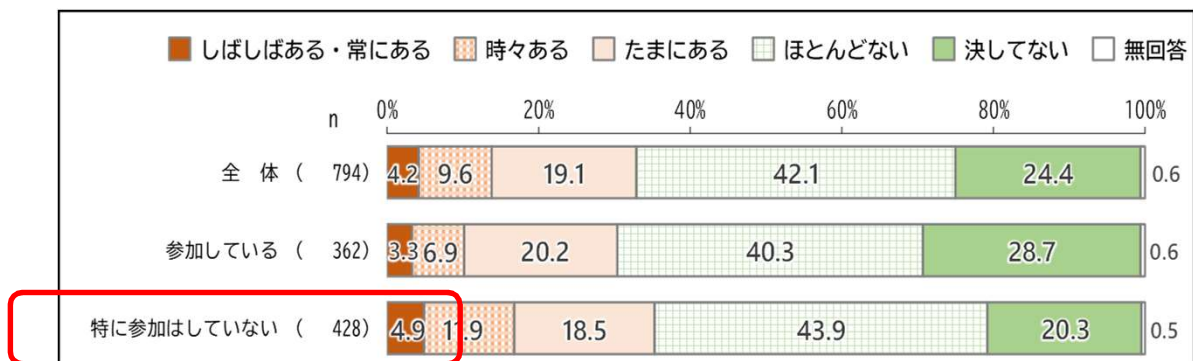


## II 結果の概要

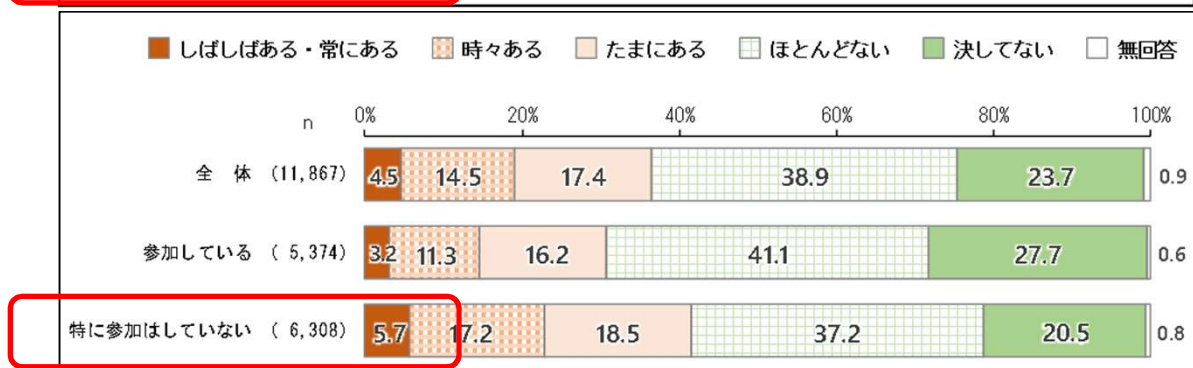
### ②社会参加の状況(続き)

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、社会活動に参加している人が3.3%、特に参加はしていない人が4.9%であった。

埼玉県



国



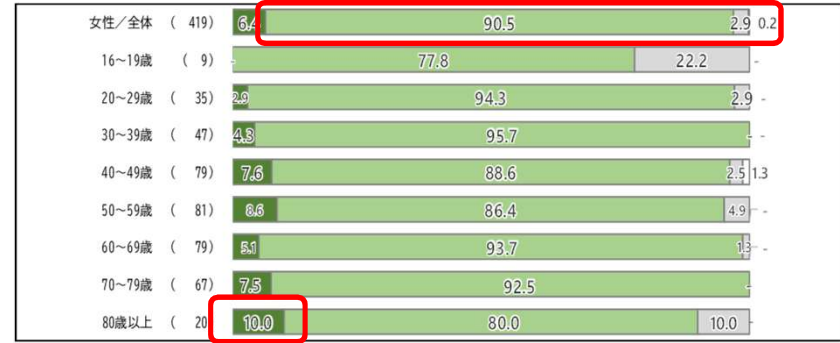


## II 結果の概要

### ③社会的サポート(行政機関やNPO等からの支援)

- 社会的サポート(行政機関やNPO等からの支援)について、支援を受けていない人の割合が91.2%であった。
- 80歳以上で支援を受けている人の割合が高い(男性10.5%、女性10.0%)。

埼玉県



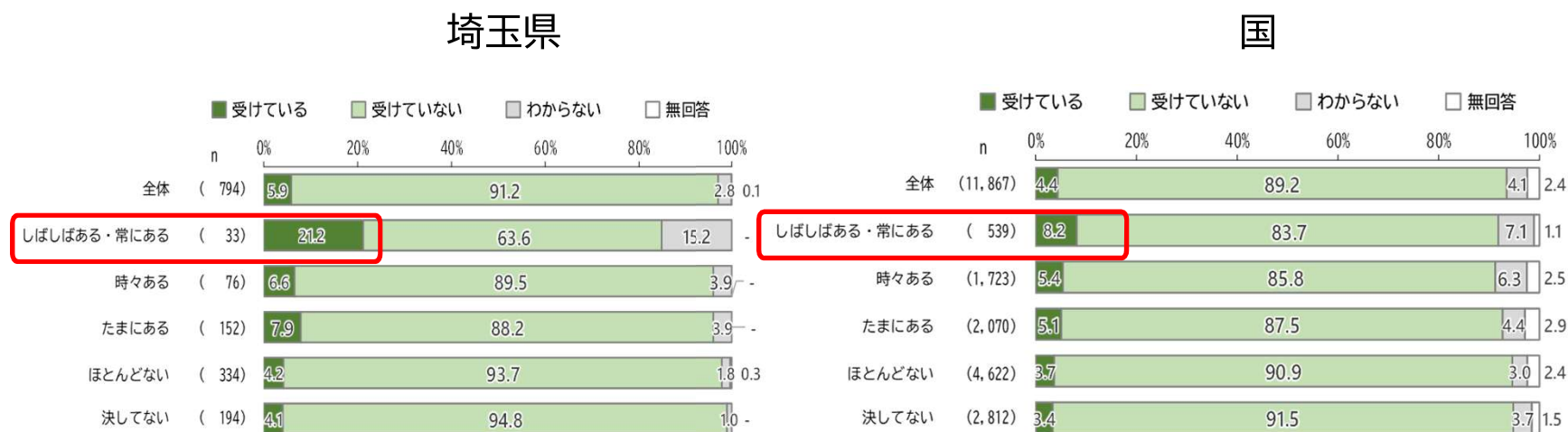
国



## II 結果の概要

### ③社会的サポート(行政機関やNPO等からの支援)(続き)

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人のうち、21.2%の人が現在、行政機関やNPO等から困りごとに対する支援(対価を直接支払うものを除く。)を受けている。



## II 結果の概要

### ④社会的サポート(支援を受けている団体)

- 現在、行政機関やNPO等の民間団体から困りごとに対する支援(対価を直接支払うものを除く。)を受けている人のうち、孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の現在受けている支援主体は、「行政機関(国や自治体)」が42.9%で最も高い。

埼玉県								国									
	n	行政機関 (国や自治体)	社会福祉協議会	NPO等 ボランティア 民間団体	自治会・ 町内会	その他	無回答	(%)		n	行政機関 (国や自治体)	社会福祉協議会	NPO等 ボランティア 民間団体	自治会・ 町内会	その他	無回答	(%)
全体	47	59.6	23.4	14.9	2.1	10.6	8.5		全体	519	60.5	28.1	8.3	5.0	7.3	9.6	
しばしばある・常にある	7	42.9	28.6	14.3	-	28.6	-		しばしばある・常にある	44	68.2	22.7	13.6	-	6.8	9.1	
時々ある	5	80.0	40.0	-	20.0	-	20.0		時々ある	93	51.6	29.0	8.6	6.5	10.8	15.1	
たまにある	12	50.0	25.0	25.0	-	8.3	16.7		たまにある	106	62.3	31.1	4.7	4.7	6.6	6.6	
ほとんどない	14	71.4	21.4	-	-	14.3	7.1		ほとんどない	172	61.6	30.2	7.0	5.2	7.6	8.7	
決してない	8	50.0	12.5	37.5	-	-	-		決してない	96	61.5	24.0	11.5	5.2	4.2	9.4	

## II 結果の概要

### ⑤社会的サポート(支援内容)

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の現在受けている支援の内容は、「相談支援(助言や情報提供等)」が57.1%で最も高い。

#### 埼玉県

	n	経済的な支援 (給付や貸付等)	現物提供等の支援 (食料品・日用品の提供)	人的な支援 (世話や介護)	相談支援 (助言や情報提供等)	その他	無回答
全体	47	46.8	6.4	25.5	29.8	8.5	12.8
しばしばある・常にある	7	42.9	-	14.3	57.1	-	-
時々ある	5	80.0	20.0	-	-	-	20.0
たまにある	12	16.7	8.3	33.3	33.3	8.3	25.0
ほとんどない	14	78.6	-	28.6	21.4	7.1	7.1
決してない	8	25.0	12.5	37.5	37.5	25.0	-

#### 国

	n	経済的な支援 (給付や貸付等)	現物提供等の支援 (食料品・日用品の提供)	人的な支援 (世話や介護)	相談支援 (助言や情報提供等)	その他	無回答
全体	519	45.3	2.9	33.1	30.4	8.1	6.2
しばしばある・常にある	44	56.8	2.3	22.7	36.4	11.4	-
時々ある	93	45.2	6.5	37.6	41.9	6.5	7.5
たまにある	106	51.9	-	26.4	29.2	9.4	3.8
ほとんどない	172	40.1	2.9	37.8	26.2	7.0	7.6
決してない	96	42.7	3.1	32.3	24.0	9.4	8.3

## II 結果の概要

### ⑥不安や悩みを相談すること

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の不安や悩みを相談する際の感情は、「相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる」が48.5%で最も高い。

#### 埼玉県

(%)

	n	得られた相談解決の手掛かりがある	相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる	相手に連絡を取ることが、面倒である	相談することが恥ずかしい	相談すると相手の負担になる	(相談しても無駄である)	その他	無回答
全体	794	63.6	70.5	7.6	5.9	9.7	8.9	2.8	1.3
しばしばある・常にある	33	42.4	48.5	27.3	21.2	21.2	39.4	3.0	-
時々ある	76	40.8	60.5	18.4	13.2	28.9	17.1	3.9	1.3
たまにある	152	61.8	76.3	9.2	5.9	12.5	9.9	1.3	1.3
ほとんどない	334	64.7	71.0	5.7	5.7	6.9	7.5	3.0	0.9
決してない	194	75.8	73.2	2.1	1.0	3.1	2.6	3.1	1.5

#### 国

(%)

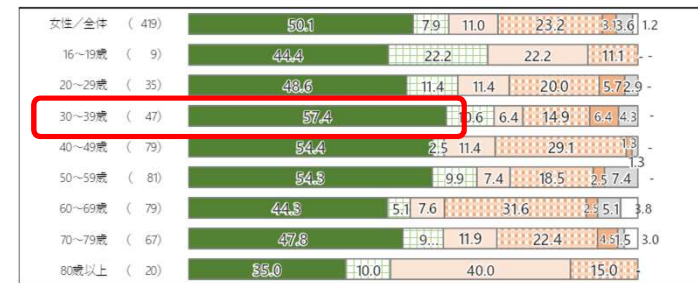
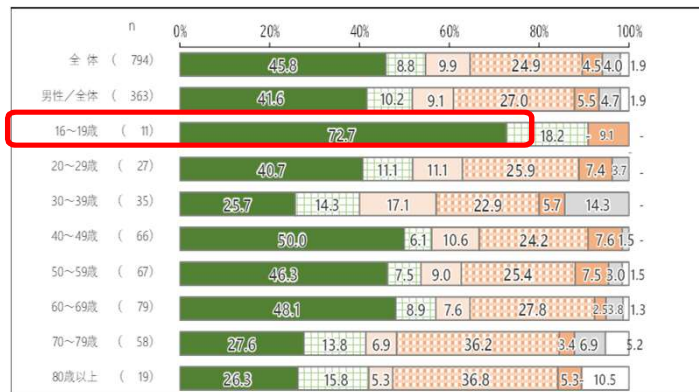
	n	得られた相談解決の手掛かりがある	相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる	相手に連絡を取ることが、面倒である	相談することが恥ずかしい	相談すると相手の負担になる	(相談しても無駄である)	その他	無回答
全体	11,867	64.0	71.6	6.9	4.8	8.2	10.1	3.1	1.4
しばしばある・常にある	539	31.4	49.0	20.0	14.3	26.0	41.6	8.9	1.3
時々ある	1,723	50.1	68.3	11.1	9.5	15.2	17.2	4.2	1.2
たまにある	2,070	57.0	74.3	11.4	6.6	11.3	12.1	2.9	1.6
ほとんどない	4,622	68.3	74.5	4.2	3.0	5.2	6.1	2.4	1.2
決してない	2,812	77.6	72.3	3.3	1.8	3.2	4.6	2.5	0.9

## II 結果の概要

### ⑦社会的サポート(他者への手助け)

- 手助けをしている人は、全体では45.8%で、男性は16～19歳でその割合が最も高く72.7%、女性は30歳代が最も高く57.4%であった。

埼玉県



- している
- 現時点ではたまたましていないが、最近まではしていた
- していない(自分にはできない)
- していない(手助けを求める人がいない)
- していない(したいと思わない・手助けを必要とする人がいるか分からない)
- その他
- 無回答

国

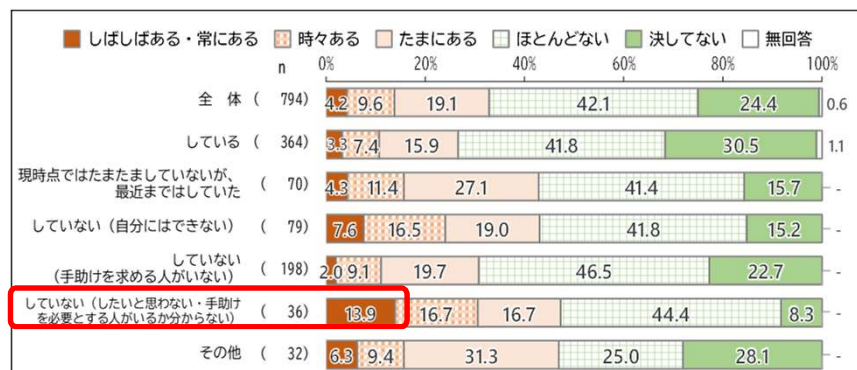


## II 結果の概要

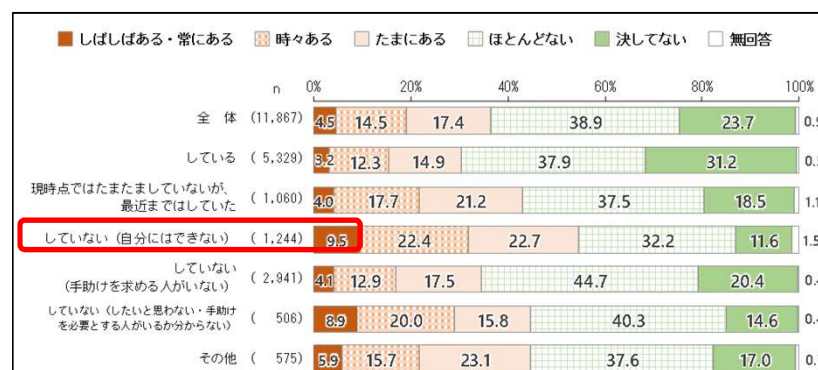
### ⑦社会的サポート(他者への手助け)(続き)

- 孤独感が「しばしばある・常にある」と回答した人の割合は、手助けをしていない(したいと思わない・手助けを必要とする人がいるか分からない)という人が13.9%で最も高い。一方、その割合が最も低いのは、手助けをしていない(手助けを求めない人がいない)人で2.0%であった。

#### 埼玉県



#### 国

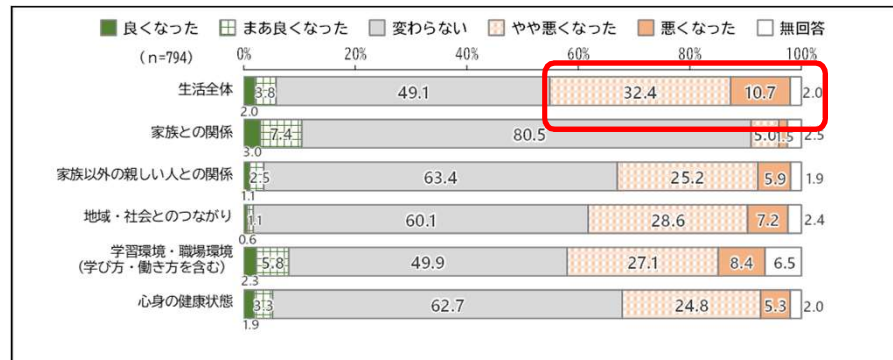


## II 結果の概要

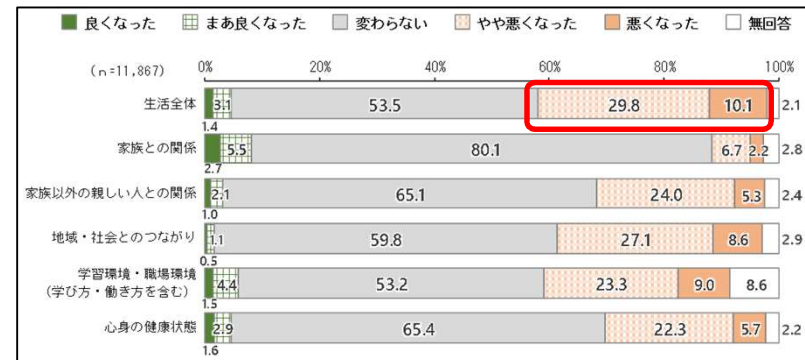
### ■ コロナ禍における日常生活の変化

- 本調査では、新型コロナウイルス感染拡大により、人とのコミュニケーションにどのような変化があったか、また、日常生活にどのような変化があったかを把握。
- 日常生活の変化について、生活全体では49.1%の人が変わらないと回答。
- 生活全体が「悪くなった」との回答が10.7%、「やや悪くなった」が32.4%であった。

#### 埼玉県



#### 国



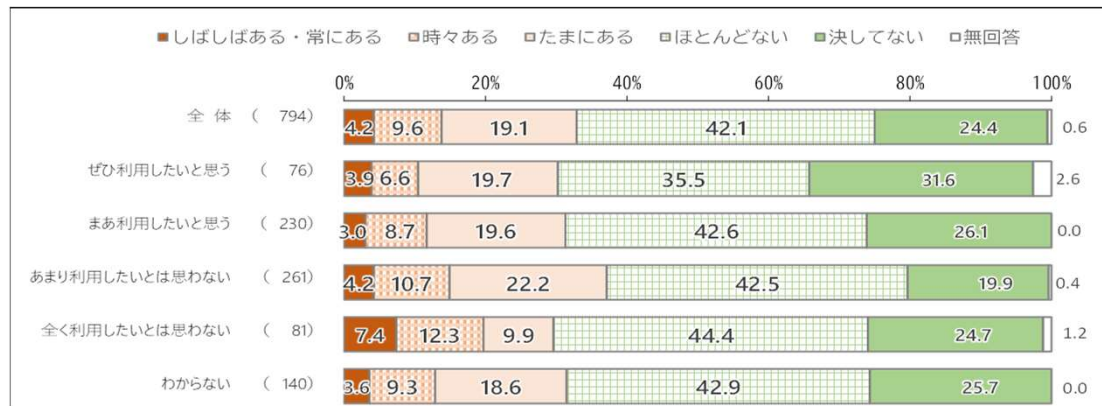
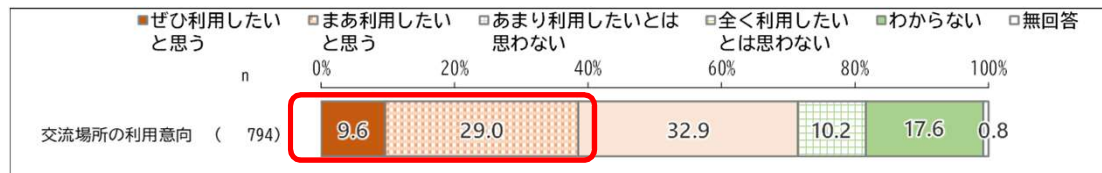


## II 結果の概要

### ■ 寂しい際の地域の交流場所の利用意向

- 交流場所の利用意向について、全体で「ぜひ利用したいと思う」、「まあ利用したいと思う」を合わせた「**利用したい**」人は**38.6%**であった。

#### 埼玉県



### 3 埼玉県の令和5年度施策(案)について

#### 内容

- 孤独・孤立に係る会員の取組のデジタルマップ化
  - ・住民等に身近な地域の居場所やイベントなどの情報を迅速に提供
  - ・取組が可視化されることで、会員間の連携を促進

#### 目的、方法

- 目的：プラットフォーム会員の取組の周知
- 方法：県の全庁GIS基盤整備事業の対象業務として実施
  - ・GIS:Geographic Information System (地理情報システム)

#### 時期・方法

- ~12月 登録の方法及び情報の整理
- 1月~ 全庁GIS運用開始
- 運用開始後は、随時、会員側からイベント情報等の登録、更新が可能となる予定

# 3 埼玉県の令和5年度施策(案)について

## GISイメージ

イベント開催情報

**森の公園 森のハロウィンナイト2022**

開催日時	2022年10月21日(金)~30日(日)
開催場所	埼玉県北企郡清川町
開催場所(詳細)	埼玉県東丘陵森林公園 中央エリア
カテゴリー	体験イベント・アクティビティ
詳細	森林公園の中央エリアでは、「森のハロウィンナイト」を開催予定。2021年は平日のみ開催だった点、開催され、夜間照明、演出を充実させ、入口を格別豪華にしたい。
URL	<a href="#">森の公園</a>

44.6493 km

© 2022 NGA, USGS (GS: Eri, HERE, Garmin, FourSquare, GeoTechnologies, Inc, METI/NASA, USGS)

**森の公園**

光と森のStory 第1章  
**Halloween Night**  
森のハロウィンナイト  
10月21日(金)~23日(日) 28日(金)~30日(日)  
17:00-20:30

森のハロウィンナイト2022～光と森のStory 第1章～

10月21日(金曜日)、22日(土曜日)、23日(日曜日)、28日(金曜日)、29日(土曜日)、30日(日曜日)の計6日間、イルミネーションライトアップ「森のハロウィンナイト」を開催いたします。

「森のハロウィンナイト」を開催するにあたり、草花空間インスタレーション、アートプロジェクトなどの展示作品を合わせてご観覧いただけます。

盛りやかなライトアップとイルミネーションに惹かれて、観覧は体験することができない。森の公園をお楽しみください。

- 新型コロナウイルス感染症予防のため、観覧時間の中止及び内容が変更になる場合がございます。この場合は、事前ホームページをご確認ください。
- 雨天中止（当日午後2時決定。11歳未満のみの観覧者への告知は別途）
- 写真・イラストはイメージです。

中庭1区画、おもしろい魔法のSHOW (体験型)、カメフラ、森の公園インスタレーション、植物園ふりかけ、環境学習活動、ポワンティア活動

## 4 埼玉県の令和6年度施策(案)について

### 内容

- メタバース空間を活用したイベントの開催
  - ・ 孤独・孤立のスティグマ解消を呼びかけるPR動画の作成
  - ・ 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム会員によるイベントブースの構築支援

### 目的、方法

- 目的：孤独感の高い若い世代向けのイベントの開催  
イベントへの参加を通じて、リアルなイベントや取組の参加につなげる
- 方法：県の全庁的なバーチャル空間を活用した新規事業として実施

### 時期・方法

- ~R6. 2月 R6年度当初予算に向けて整理
- R6. 5月 孤独・孤立対策強化月間としてイベント実施
- R7年度以降も継続したイベントの開催を予定

## 4 埼玉県の令和6年度施策(案)について

メタバースイメージ



参考：メタバーズプラットフォーム「Cluster」